

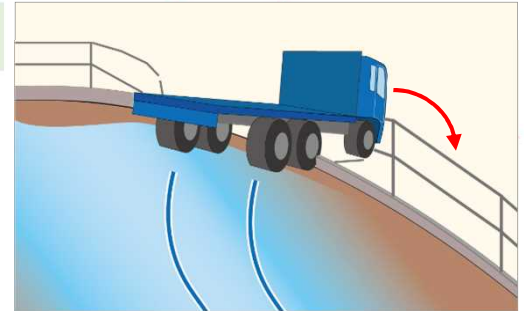
## 冬季特有の事故にご用心！

～積雪・凍結道路では、少しの油断が交通事故を引き起こすおそれがあります～

凍結した路面の運転には高い技術が必要です。「冬道は慣れている」と考えているベテランドライバーでも事故を起こしています。また、降雪によって視界が悪くなることで危険性が増すこともあります。積雪や凍結、降雪による危険性を十分認識して運転することが大切です。

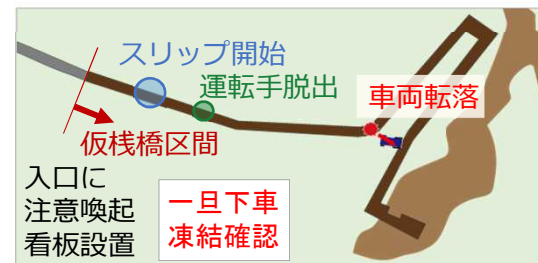
### 事件事例1 現場内凍結道路でトラックがスリップし転落

【事故概要】 トラック運転手は『一旦下車 凍結確認』の表示を見て、現場確認すれば入場可能と判断し、乗り入れ、仮栈橋を数メートル通過したところで路面凍結によりスリップし、制御が利かず途中の手摺にぶつかりながら高所から転落し、トラックが全損した。運転手は停止できないと判断して運転席より飛び降り、打撲・肉離れを負った。



【主な要因】 ①凍結時に進入禁止のルールが十分周知されていなかった。  
②凍結時の進入防止等の対策が不十分であった。

【再発防止対策】 ①栈橋入口部をチェーン、ダイヤル錠等で施錠し、容易に進入出来ないようにする。  
②「一旦下車 凍結確認」の明示を「立入禁止」に変更する。また、朝礼前に元請職員が進入可能か確認する。



### 事件事例2 視界不良で誘導を確認せずに事故が発生

【事故概要】 除雪トラックがパーキングエリア駐車場内の拡幅除雪作業中、後退した際に道路照明灯に衝突。

【主な要因】 施工計画書に記載していたとおり補助員が除雪トラックを誘導していたが、天候による視界不良で、運転手が補助員の誘導を確認せずに後退させた。

【再発防止対策】 ①施工計画書等に記載された手順を遵守するよう改めて周知する。  
②遵守できない状況に遭遇すれば作業を一時中断する。  
③聴覚でも確認できる警笛付誘導棒等を導入する。



## 冬季の事故を防止するためには



- スタッドレスタイヤ（雪路用タイヤ）を過信せず、装着していても乾燥路面と比べると非常にスリップしやすい、ということを十分認識して運転しましょう。
- スタッドレスタイヤは、全車輪に装着することが基本となっており、駆動輪のみに装着した場合は、車両の挙動が安定しないなど、十分な滑り止め効果が得られません。スタッドレスタイヤは全ての車輪に装着しましょう。
- 雪道や凍結路を走行する際は、制限速度にかかわらず速度を十分落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。また、日陰や橋の上は凍結しやすい箇所がありますので十分に注意しましょう。
- 車両の運転や重機の操作は、必ず誘導員の合図や誘導によって行いましょう。

冬の運転では、いつも以上にゆとりを持って運転しましょう！

# 近畿地区建設工事安全対策推進協議会の 合同安全パトロールを行いました

10月26日、近畿地区建設工事安全対策推進協議会※（舗装部会）において、（一社）日本道路建設業協会関西支部と近畿地方整備局との合同安全パトロールを実施しました。当日の指摘事項と改善策等を紹介するので、各現場においても安全点検の参考にしてください。

※安全対策の確立に向けて「公共工事の発注における工事安全対策要綱（平成4年7月1日）」を踏まえた現場における事故の実態並びに安全管理上の問題を明らかにし、これに対応した具体策の検討を行うため、国土交通省と工事を施工する建設業界とが直接、意見交換をする場として「近畿地区建設工事安全対策推進協議会」が設けられています。

## 改善例



資機材等が乱雑に置かれているなど、一部整理整頓ができていない。

不要なものを撤去し、整理しました。



改善前  
歩道に雑材が置かれている



改善後



改善前  
資材が乱雑に置かれている



改善後

## 改善例



掲示板の作業計画書と現場とで、作業している重機の台数が異なっている。

掲示板の作業計画書を修正しました。



## 好事例

マットで通路区画を明示するとともに、足元の安全も確保しています。また、トンネル内はLEDテープライトを設置して誘導しています。



いいですね！



## 整理整頓ができていないことによるデメリットを理解し、整理整頓を習慣づけましょう



- 資機材等が乱雑に置かれていると躓いて転倒したり、ケガをする可能性があります。
- 整理整頓が出来ていない状態では、必要な資機材がなかなか見つからず、探す時間を無駄にしまいます。1回1回はわずかな時間でも、それが続くと膨大な時間となり、場合によっては作業に遅れが生じる可能性もあります。
- 整理整頓は日々に積み重ねによって保たれます。忘れたり、面倒だとならないような仕組み作りを現場全体で行いましょう。

## 「連絡不足」はヒューマンエラーのひとつです。エラーが発生しやすい状況を放置せず、安全対策を講じましょう



- 連絡不足は複数の人々が関与する場合に発生しやすい傾向があります。連絡不足によるエラーを防ぐために組織・現場全体で取り組むことが必要です。

## 誰もが安全・安心して通行できる通路区画を確保しましょう



- 通路区画を明示することで思わぬ事故を防ぐことができます。
- ほかに作業区画を明示して、機械との接触や予期せぬ上下作業等、危険の見える化を図りましょう。



事故なく、明るい新年を迎えましょう

～注意力散漫になりやすい時期です、気をひきしめましょう！～

